

バイテク情報普及会

第9回

高校生科学教育大賞

支援対象校募集

バイテク情報普及会は、高校生の持続可能な農業と植物バイオテクノロジーへの理解促進を目的とした科学教育活動を支援する「第9回高校生科学教育大賞」の支援対象校を、2025年5月30日まで募集します。

バイテク情報普及会は、持続可能な農業の実現や食料の安定供給に貢献するバイオテクノロジーの重要性を広く理解していただくため、さまざまな活動を行っています。その一環として、次世代を担う高校生に「持続可能な農業」と「植物バイオテクノロジー」について深く学び、考えるきっかけを提供することを目的に、2017年に「高校生科学教育大賞」を設立しました。以来、毎年、支援対象となる科学教育活動を公募しています。最優秀賞または優秀賞に選ばれた学校には、1校あたり100万円を上限として、申請された活動費用の一部または全額を支援します。

昨年開催された第8回(2024年)では、厳正な審査の結果、京都府立桂高等学校の「原種『フジバカマ』の茎頂培養によるウイルス除去と養液栽培システムの構築」が最優秀賞に選ばれ、申請額の全額である80万円の活動費用を支援しました。また、特別優秀賞には広島県立西条農業高等学校、優秀賞には岡山県立高松農業高等学校と栃木県立那須拓陽高等学校が選ばれ、各校に申請額の一部を支援しました。

本年開催の第9回も、農業と植物バイオテクノロジーへの理解を深める研究活動や、遺伝子組み換え作物・ゲノム編集食品に関するサイエンスコミュニケーション活動の計画・アイデアをお持ちの高校からのご応募をお待ちしています。

バイテク情報普及会は高校生の自由な発想を大切にしています。生徒の皆さん自身による企画・応募も歓迎しますので、ぜひチャレンジしてください。

活動費用として
最大
100万円支援

右記のQRコードから「バイテク情報普及会」ウェブサイトへアクセスできます。



お問い合わせ先

募集要項

募集対象 高等学校および高等専門学校における学校行事や部活動などの科学活動。

主旨 生徒自身または一般消費者の「持続可能な農業」や「植物バイオテクノロジー」への理解を促進するような、実現可能で具体的な研究やサイエンスコミュニケーション活動を支援することを目的とする。

支援内容 最優秀賞（1校）、優秀賞（複数校）に選ばれた学校には、申請された活動費用の一部または全額を支援する。

- 1校あたりの支援金は100万円を上限とする。
- 申請額より減額して支給される場合がある。

※活動費用とは、本活動に伴う実験、調査、専門家派遣、施設見学、交通費、書籍購入、報告のための学会参加費等に係る費用の一部または全額を指す。

※国内外の移動を伴う場合は、各学校の教員がコーディネートおよび引率を行い、各学校の責任のもとで実施すること。

利用規約 以下の規約を読み、同意した者のみ応募すること。応募書類をバイオテック情報普及会に送付した時点で、以下の規約に同意したものとみなす。

1. 支援金の取り扱い

- 申込書の支援金の使途に変更がある場合、2025年10月末までに直ちに当会に相談すること。
- 支援金の使途について、領収書の提出等を求める場合がある。
- 本利用規約に違反した場合、本支援金の返還を求められる場合がある。

2. 提出書類

- 本支援事業採択後に申込書の記載内容に変更がある場合、直ちに当会まで連絡すること。
- 2026年4月までに、本支援事業により実施した活動の成果について活動報告書を提出する必要がある。
- 2026年4月以降も活動を継続する場合は、活動終了後1カ月以内に活動報告書を提出すること。場合によっては、当会から提出時期を指定されることがある。
- 採用された活動の概要および活動報告書は、当会ウェブサイトにて公表される。

3. 成果の公表

- 受賞校は、本成果を公表するよう努めること。
- 受賞校が本成果を学校内外で発表または報告する場合、当会に報告するとともに、本支援事業の交付を受けて行った活動であることを記載すること。

応募方法 当会ウェブサイトから申込書をダウンロードし、下記の申し込み先までEメールに添付し送付する。応募は学校を通じて行き、各校あたり3件までとする。

送付先メールアドレス secretariat@cbijapan.com

- 申込書は指定の書式を使用すること。
- 支援金の具体的な使用方法（例：実験機材購入費xx円、交通費xx円等）を明記すること。
- 担当教員1名を申込責任者とする。
- 手書きは選考対象外とする。
- 学校名を伏せて審査するため、申込書2枚目および3枚目の「活動の概要」には学校名を記載しないこと。

選考 当会会員企業および下記の委員からなる選考委員会において行う。

- 小野 道之氏（筑波大学 生命環境系 准教授）
- 小泉 望氏（大阪公立大学大学院 農学研究科 教授）
- 小島 正美氏（食生活ジャーナリストの会 前代表）
- 高島 賢氏（農林水産省 消費・安全局 農産安全管理課 審査官）（50音順）

応募締切 2025年5月30日（金） 23:59まで

発表 受賞校には2025年7月上旬頃に通知するとともに、当会のウェブサイトにて発表する。

お申し込み・お問い合わせ先

バイオテック情報普及会 事務局

〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART茅場町3階

- Tel 03-6868-8491
- E-mail secretariat@cbijapan.com
- URL <https://www.cbijapan.com/>

※必要に応じて事前相談を受け付けております。
※右記のQRコードから「バイオテック情報普及会」ウェブサイトへアクセスできます。



バイオテック情報普及会

COUNCIL FOR BIOTECHNOLOGY INFORMATION JAPAN

遺伝子組み換え技術は、暮らしに役立つ可能性を育てています。

バイオテック情報普及会について

バイオテック情報普及会（英名：Council for Biotechnology Information Japan, CBIJ）は、植物科学やバイオテック作物の開発企業で構成する国際組織「クロップライフ・インターナショナル（本部ブリュッセル）」傘下の任意団体で、2001年10月1日に設立されました。本会は、「クロップライフ・インターナショナル」のビジョンである持続可能な農業の実現や食料の安定供給への貢献を念頭に、サイエンススペースで透明性ある許認可システムの構築を支援するための活動や幅広いステークホルダーの皆様へバイオテクノロジーの重要性をご理解いただくための広報活動を行っています。

バイオテック情報普及会 会員企業（50音順）

- コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社 ●コルテバ・ジャパン株式会社 ●シンジェンタジャパン株式会社
- バイエル クロップサイエンス株式会社 ●BASFジャパン株式会社